

BCRX230+WiFi CPUボード 取扱説明書

第2版 2020. 12. 25/2018. 10. 11 E2 lite追加

RoHS指令準拠品

有限会社 ビーリバーエレクトロニクス



●BCRX230+WiFi概要

本製品はBCRX230CPUボードにWiFiモジュール ESP-WROOM-02 をSCI接続で追加し、WiFi制御を行えるようにした基板です。

■CPUボードの機能、I/O等はBCRX230 CPUボード 取扱説明書を御参照下さい。

■動作周囲温度 -40 ~+85 °C

■用途 遠隔データ送受信、スマホ、パソコンから遠隔操作、表示

■出荷時にCN5 P40/AN000を入力とするAD変換値をWiFiで送信するサンプルプログラム焼き込み済み。3.3Vの電圧を印加するだけで、WiFi受信が体験できます。

■サンプルプログラムは弊社サイトより無償ダウンロードできます。http://beriver.co.jp/RX230_wifi.html

●ボード構成

※本ボードの開発にはルネサスエレクトロニクス社製エミュレータE1 または E2 lite が必要です。

外部クリスタル： 本ボードCPUは背面実装された外部クリスタル12.5MHzにより最大50MHzで動作可能です。
電源： 3.3V 単一 130mA(3.3V/CPU 50MHz ESP動作 TYPE)。

5Vを電源、AD入力に印加するとESP-WROOM-02、CPUが壊れますので、ご注意ください。

E1デバックカを使用して動作させるとE1から3.3Vの電源を供給できます。

E2 lite でも3.3Vの電源が供給できます。

デバック時など200mA以内の総電流であれば他に用意する必要はありません。

デバックコネクタ： E1 または E2 lite 用デバックコネクタ実装済み。

基板サイズ： 51×64×15 (H) mm

RoHS指令： 基板、部品、半田付け全ての工程でRoHS指令準拠仕様。

●BCRX230 CPUボードから追加になったコネクタ

【CN6】SCIポート RX230のTXD1、RXD1とESP-WROOM-02のTXD、RXDが接続された信号です。シリアルアナライザの解析時に接続して下さい。

ピンヘッダ B4B-EH (LF) (SN) メーカー JST 実装済み
ハウジング EHR-4 ピン BEH-001T-P0.6 メーカー JST ※1

1	P26/TXD1 (RX230) - RXD (ESP-WROOM-02)
2	P30/RXD1 (RX230) - TXD (ESP-WROOM-02)
3	+3.3V
4	GND

※1 圧着済ハーネスアッシー Lケーブルも発売しております。

●使用上のご注意

環境の悪いところ（ノイズ、油、ほこり、塵、結露、-40~85℃以外の環境）での使用はお止め下さい。

●お問い合わせ

BCRX230-WiFi CPUボード についてのお問い合わせは以下にお願い致します。

会社名	ホームページ（メールアドレス）	住所	他
有限会社ビーリバーエレクトロニクス	http://beriver.co.jp/ メール info@beriver.co.jp	〒350-1213 埼玉県日高市高萩1141-1	ハードウェア、ソフトウェア 設計、製造元
販売代理店、部品	サンデン商事株式会社（担当：譜久山 ふくやま）	〒101-0021 東京都千代田区外神田6-1 2-3 ビックウエストビル 3号館4F	TEL 03-5818-7751 FAX 03-5818-6630

■BCRX230-WiFi 外形寸法図

